

移動市長室

サロン企画委員会

―地域のふれあいいきいきサロンの活動について―

通算75回目となる移動市長室を、12月21日(木)に開催しました。サロン企画委員会と懇談を行い、12人の出席がありました。

●問い合わせ先 秘書広報課



サロン企画委員会って？

ふれあいいきいきサロン活動の一層の充実を目指し開催されているサロン連絡会。その企画・運営を行うサロン企画委員会は、9人のサロン代表者や世話人によって構成され、筑紫野市社会福祉協議会(社協)とともに、年3回の連絡会を中心とした活動をしています。

懇談では、サロンの目的・効果、目指すものをはじめ、筑紫野市でのサロン活動の推移、連絡会の取り組み状況などの報告を受け、意見交換を行いました。



した。

一緒につくるつどい・交流の場

ふれあいいきいきサロンは、平成6年に全国社会福祉協議会によって、住民であるボランティアと利用者が主体となり、つながりをもてるつどいの場を作ろうという提案がなされたのが始まりとされています。市内の第1号は、むさしヶ丘区。高齢化や地域性を踏まえ、自治会福祉活動の一環として、公民館において高齢者を対象とした気軽に参加できる場「むさしヶ丘ふれあい」が平成9年12月に開設されました。その後、サロン数は右肩上がりに増加しており、平成29年9月現在、72カ所の高齢者サロンが運営され、さまざまな活動が展開されているとの報告がありました。

サロンの目指すもの

サロンに参加することで、楽しさや生きがいを得、社会参加の意欲が高まります。公民館など歩いていける場所のサロンに出かけたり、プログラムを行ったりすることで無理なく体を動かせること、人と会い、話し、笑い、歌い、ゲームをするなどの楽しい時間を過ごすことが適度な精神的刺激になること、食事や健康チェックなどをきっかけに自身の健康や栄養を意識する習慣がつくことなどが効果として挙げられます。気軽に出かけて仲間づくりをし、地域で元気に暮らせる一助になること、お互いに助け合い支え合う地域づくりのきっかけになることなどを目指しサロン活動は行われています。

大切な情報交換・共有の場として

始まりは、日頃抱えている悩みや課題などお互いの活動に関する情報交換を行うことによって、活動の活性化を図ろうと第1回連絡会が平成13年5月に社協主催で開催されたことでした。以降、サロン活動の活発化や数の増加などにつれて、連絡会でもさまざまな悩みを聞くことが多くなったことから、社協と一緒に考え企画してくれる人を呼びかけ、平成17年5月の連絡会から2人の参加が始まったことの紹介がありました。

現在では、9人の企画委員の意見やアンケートなどをもとに、さまざまな形での連絡会が実施され、サロン実施団体とこれからやってみようと考えている行政区関係者が参加する情報交換・交流の場となっています。サロンでは、ものづくりを楽しみたいという



希望が多いため、季節の雛人形をはじめ、ちぎり絵やフェルト細工など工作の紹介・制作をしていること、また、

管理栄養士や音楽療法士、地域包括支援センター、レクリエーション協会などの専門家からの講習を受けたりするなど、いろいろな内容で開催し、平成29年11月で50回目となりました。地域住民の身近なつどいの場であるサロンではありますが、活動を楽しく継続していく中で悩みや課題が出てきます。それらを共有できる連絡会は、貴重な情報交換の場となっているとの報告がありました。

思いや課題を共有する時間となりました

その後、企画委員になってよかったことなど、思いをそれぞれ話してもらいました。知らなかった情報、例えば、

ものづくりの具体例やバスハイクの行き先などが得られること、悩みや問題もあるものの自分のところだけではないと皆で話ができることなどよい点をお聞きし、楽しいサロンを作りたいという思いに対するヒントの場である連絡会の重要性がよくわかりました。さらに、サロンに來たくても來ることのできない高齢者の交通手段の確保や認知症の人の受け入れ体制など、高齢化社会の中での課題について、出席者で議論を深めることができました。

懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

・私たちの考えを直接お話しして、取り組んでいることを市長さんに知ってもらえたことがとてもよかったです。

・市長さんの本音がすごく聞けたなと思いました。本当に丁寧に話してくださったのがよく分かりました。そして、しっかり市民の声を聞いてくださるというのがよく分かるすごい会だったと思います。開催してくださって、ありがとうございました。

藤田市長の一言



サロンの基本的事項をはじめ、サロン連絡会の取り組み、そして、各地域において、皆様がそれぞれ素晴らしいサロン活動をしていただいていることが、お話を聞かせていただく中でよく分かりました。大変ありがたいことだと思っております。

少子高齢化社会の中で、高齢者施策をどのように進めていくか、今日の貴重なお話を持ち帰らせていただき、よく検討してまいります。

サロン企画委員会の皆様、今日は本当にありがとうございました。